

アーティスト インタビュー

挟間美帆 × 滝 千春

MIHO HAZAMA × CHIHARU TAKI

小金井出身の世界的ヴァイオリニスト滝 千春が、ジャンルを超えて共鳴するジャズ作曲家・挟間美帆と立ち上げた全く新しいプロジェクト「MaNGROVE(マングローヴ)」。人(Man)が紡ぐグルーヴィー(Groovy)な音楽を紡ぎたいという思いが込められているという、来年1月の公演について、2人のお話をうかがいました。



「“絶対、気が合うから!”って共通の友人から紹介されたのが滝さんでした」

滝「出会いの夜は食事の席で大盛り上がりして、何も覚えていないんですけど(笑)、翌日改めてランチを一緒に、まず人柄に惹かれましたね。それで数年後、東京オペラシティのB→Cという公演に出演が決まった時、真っ先に挟間さんに新作を書いてもらいたいと思ったんです!」

こうして生まれたのが、無伴奏ヴァイオリンのための「B⇄C(ビー・トゥー・シー)」という曲です。

挟間「最初はB(=シ)とC(=ド)の間に音がいっぱいある離れた状態からはじまって、行き来を繰り返していくとその距離がだんだん縮まっていき、最後はシとドが隣り合わせになって終わるという非常にシンプルなコンセプトで書きました」

滝「演奏している側としては全然シンプルじゃないですよ(笑)」

挟間「初演(2021年)の時点で、作曲家である私の手から完全に独り立ちした作品として聴かせてくれたのがとても嬉しかったですね。でも一番ビックリしたのは、新作なのに暗譜で演奏したんですよ! 解釈としても彼女の音楽になっていたのも何も心配することなく客観的に楽しめましたし、作曲家としてこんなに幸せなことはなかったです」

滝「そのあと、弦楽アンサンブルでヨーロッパ・ツアーをすることが決まっていたんですけど、新型コロナのために何度も延期された末に中止されてしまいました。今回はそのリベンジでもあるんです」

ジャンルにとらわれない音楽

編成は、世界に通用する実力者——滝を筆頭に、若手世代のスターである山根一仁と佐藤晴真、そしてニューヨークを拠点に活躍しているルオシャ・ファン——が集まった弦楽四重奏に、ジャズとクラシックのどちらも完璧に弾きこなすコントラバスの木村将之と、ピアニストとして挟間が加わるという贅沢極まりない布陣です。

滝「ルオシャは日本では知られていないかもしれませんが、数年前にブダペストの音楽祭で出会ったヴァイオリニスト兼ヴィオリストです。誰とも似通っていない自分の音楽をクリエイトする、いつもサプライズを与えてくれるような音楽家なので、一緒に共演したら自分がどんな風になれるのか、今からとても楽しみです」

挟間「この編成にした理由は、組曲『Space in Senses』を再演して新たな可能性を見出したいという思いが非常に強くあるからです。これは私自身にとって本格的なデビューとなった2013年の『挟間美帆のジャズ作曲家宣言!』という公演で初演した管弦楽と2台ピアノの曲で、星座など、空間に作られる形を題材にしています。翌年の出光音楽賞受賞記念コンサートで演奏したのが今回と同じ六重奏に編曲したバージョンでして、その中からプログラムを選びました。でも私の曲ばかりにはしたくなくて。クラシック音楽のファンの方にも興味を持ってもらえる曲目として私自身も幼い頃から大好きなプロコフィエフの『ロメオとジュリエット』を取り上げることにしました。原曲の良さを残しつつ、今回のテーマであるグルーヴィーな部分を付け足せたらと考えています」

実は、プロコフィエフは滝にとって最も近く感じる作曲家で、2023年に『Prokofiev Story』というCDまでリリースしています。

滝「プロコフィエフが並べる音符は、私にとって言葉として届くんです。音符だから言語の壁を超えて、彼の言いたいことがスッと入ってくる感覚になります。だから何らかのストーリーがあるように聴こえるんです。それはサウンドが全く違っていても挟間さんの音楽にも共通していて、聴いていると何かしらかが想像できるからこそ凄く共感できるのだと思います」

この他にも挟間が敬愛する作編曲家オガーマンがチャップリンの名曲を美しく編み直した「スマイル」、挟間がモルゴーア・カルテットのために作曲した「CHIMERA」、そして滝が初演した「B⇄C」を特別なエディションで披露します。ジャンルに関係なく、音楽好きなら誰もが楽しめる特別な公演になること間違いなしです。

マングローヴ

挟間美帆&滝 千春 project MaNGROVE

2026年1月17日(土) 14:00開演 大ホール

全席指定 一般 5,800円 U25席 2,000円

こがねいメンバーズ一般 5,300円

【出演】挟間美帆(プロデュース、作・編曲、ピアノ)
滝 千春(ヴァイオリン、プロデュース)
山根一仁(ヴァイオリン)、ルオシャ・ファン(ヴィオラ)
佐藤晴真(チェロ)、木村将之(コントラバス)

【演奏曲】チャップリン(C.オガーマン 編):スマイル
プロコフィエフ(挟間美帆 編):ロメオとジュリエット ほか 予定

